

統合デジタル健診システム 拡大準備会資料

## 課題解決のためのIHE手法の 適用について

京都医療科学大学  
細羽 実

### IHE手法のステップ

①現場で共通となる業務の行われるシナリオを特定

②システムが提供すべき業務の全体を、既存システムの枠を越えたいくつかの小業務のフローに分割、整理

③個々の機能を実現するために必要なユニット(アクタ)の抽出

④アクターが協調して相互接続運用を行うために必要な通信方法(トランザクション)を定義、DICOM,HL7などの標準規格で記述

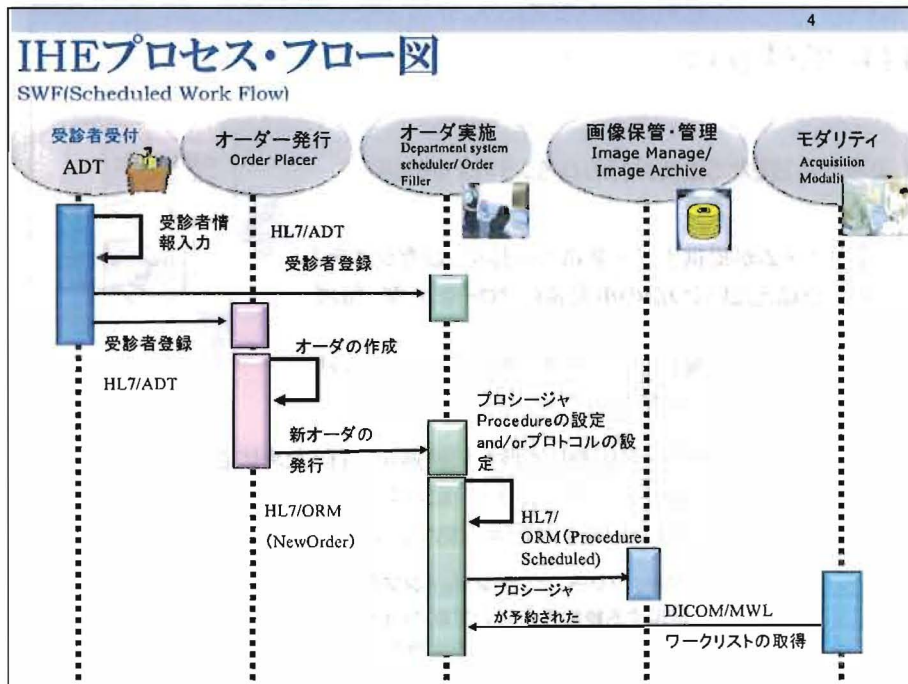
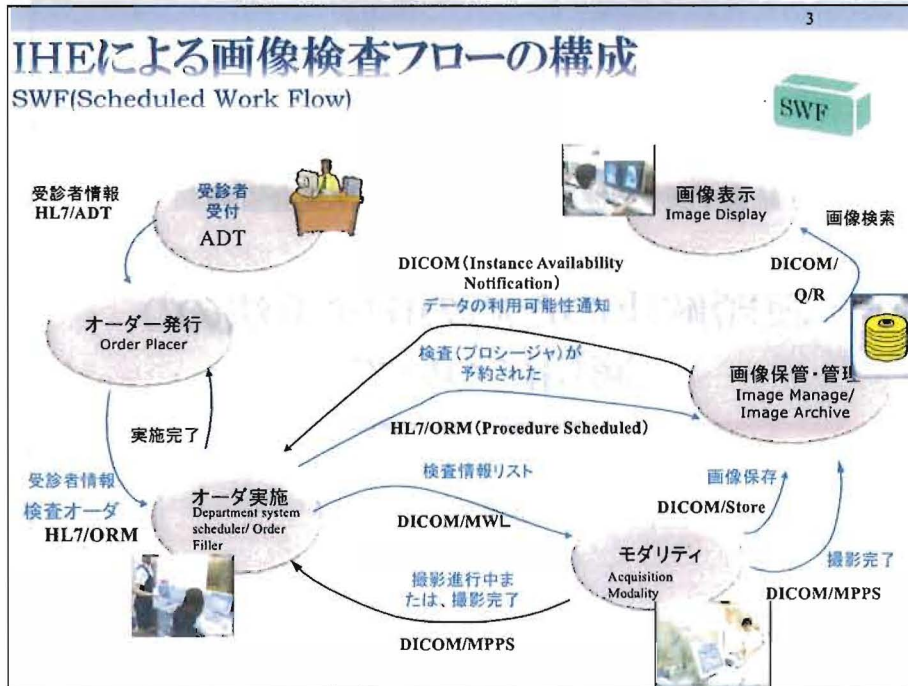
⑤ワークフロー、コンテンツ、インフラなどの業務シナリオを実現する枠組みを統合プロフィールと名付けて確定し、テクニカルフレームワーク文書として記述、公開

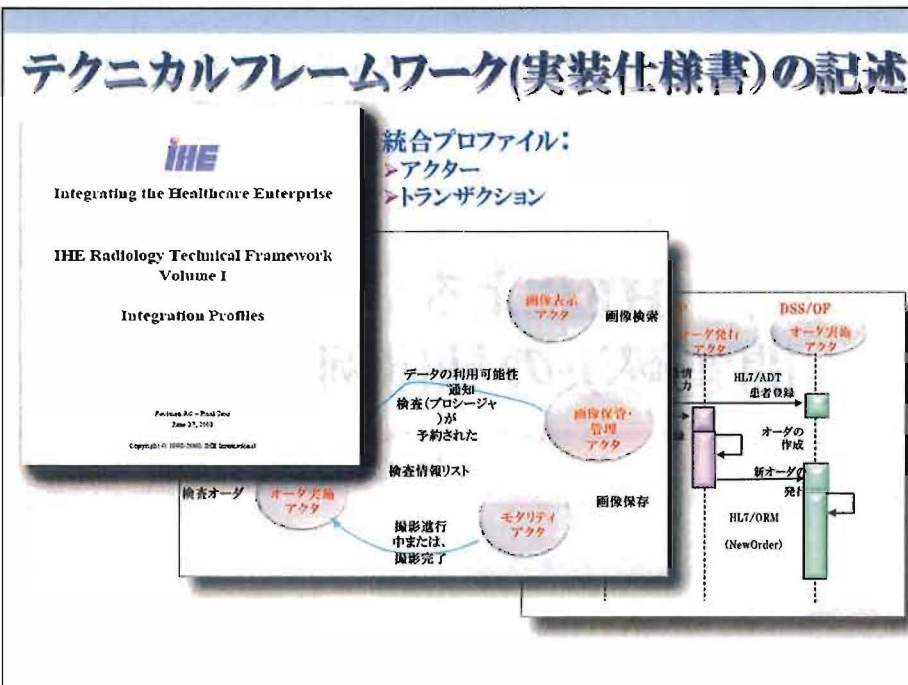
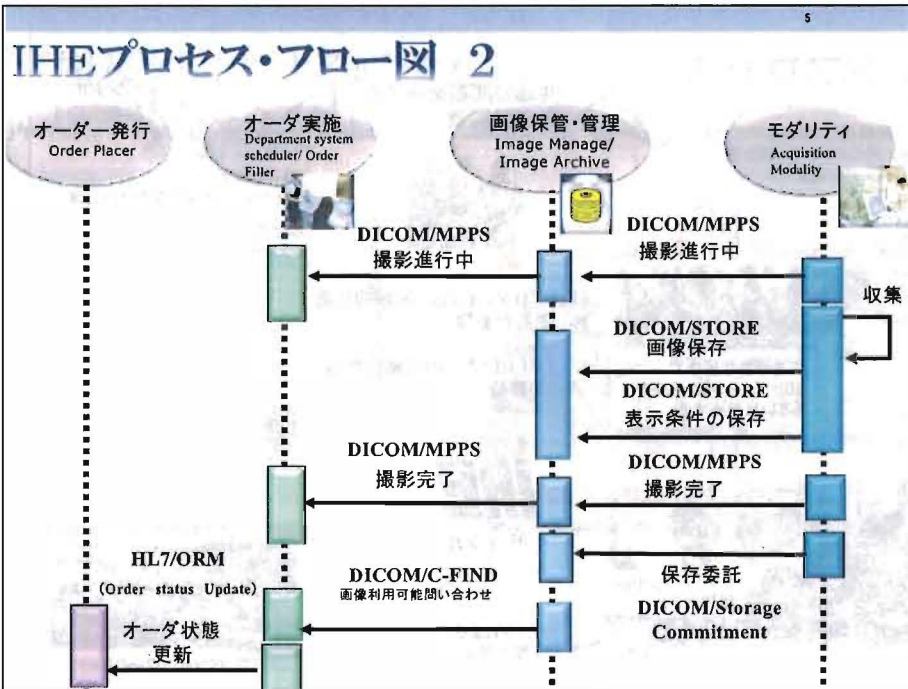
共通業務  
シナリオ

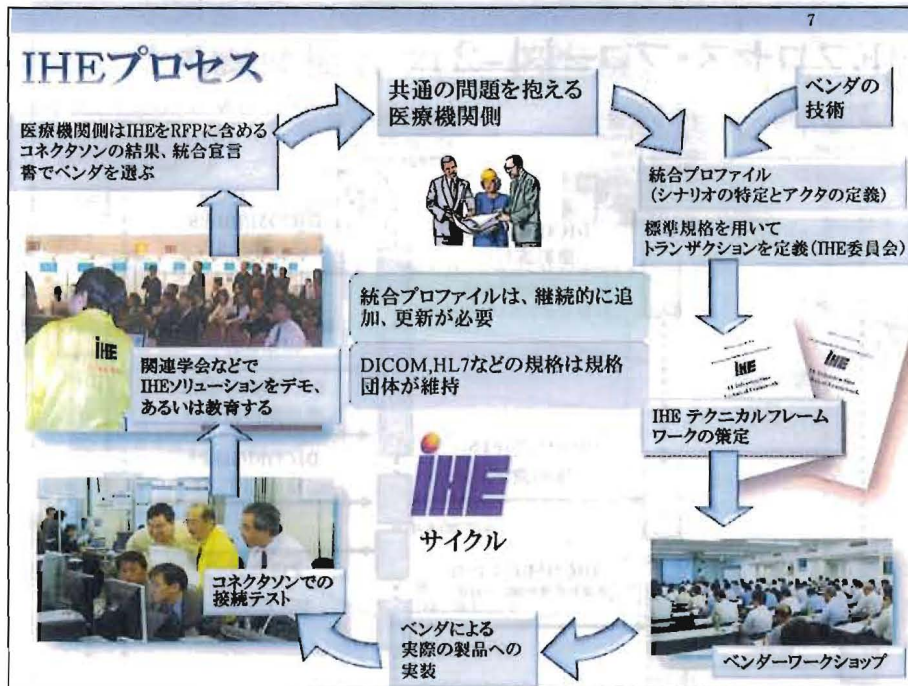
共通小業務  
シナリオ

アクタ

トランザクション







8

## IHEによる 問題解決の具体例

---